



熊野町立熊野第一小学校
令和2年 10月 22日
校長 平岡 弘資

「やさしさ見つけ」は「自分見つけ」そして「今の自分から」

朝夕は寒いくらいになりました。秋本番。先月号で紹介した菊の花もつぼみが大きくふくらみ、三分咲きの花も。学校に来られた際はぜひご覧いただきたいと思います。

文化の秋、スポーツの秋と言われていますが、今年は運動会も中止、学習発表会も中止。なかなか思うように行事等ができません。行事を通して子供たちは大きく成長します。残念なところはありますが、6年生の和太鼓発表など学年によっては、保護者の皆さんにご覧いただくような取組も予定しています。現在の状況でできることを精一杯取り組んでいきたいと思っています。



正面玄関の菊

さて、これまでもお伝えしているように、今年は子供たちに付けたい力の最重点項目として「自分の成長に気付く力」をあげています。今自分は何ができて、何ができていないのか。自らの振り返りを通して自分自身を知り、そこから成長していくこと。そういった力を子供たちに付けてほしいと思っています。合い言葉は「今の自分から」 そのためには全ての教育活動において、教職員も子供たちも常にそのことを意識して取り組むことが大切です。その中でも特に、重点的に今年から取り組み始めたことが「がん熊タイム」「やさしさ見つけ」「走力の向上」です。

「がん熊タイム」は 15 分間で、音読、百マス計算、視写、フラッシュカード等についてテンポ良く、集中力を切らさず取り組んでいます。子供たちは「百マス計算が昨日より早くできるようになった！」と自らの伸びを感じているところです。

「走力の向上」では、学期ごとに 50m 走のタイムを計り、走力向上に向け、体育の授業だけでなく日頃の取組の成果が感じられるように取り組んでいます。

3つ目の「やさしさ見つけ」。友だちからしてもらって嬉しかったこと。友だちの良い行動も見て自分自身を振り返ること。そうしたことに日々取り組んでいます。

1年生の廊下の壁には、「花咲山」の掲示があります。

「やすみ時間にみんなが鍵盤ハーモニカを聞いてくれて嬉しかったよ。」

「よして」と言ったらよしてくれて嬉しかったよ。

「図書で書くのが上手になって嬉しい。」

「おはようと教室へ入ったら、おはようとあいさつを返していたよ。すてき。」

まだまだたくさんのやさしさの花が咲いています。

友だちのやさしさ、良いところを見つけるということは、自分自身がやさしさや思いやりのある行動の良さに気付くということです。さらに「やさしさ見つけ」を通して、自分自身を振り返る

「自分見つけ」にもつながります。そして「今の自分から」自分自身を成長させる力となります。友だちとお互いの良いところを伝え合うなかで、自分自身もやさしくなれるし、周りの友だちもやさしくなる。みんなが良い気持ちになる。みんなが嬉しくなる。みんなが楽しく学習や遊びをすることができるよう。そんな取組にしていきたいと思っています。



1年生の花咲山

学校生活の様子

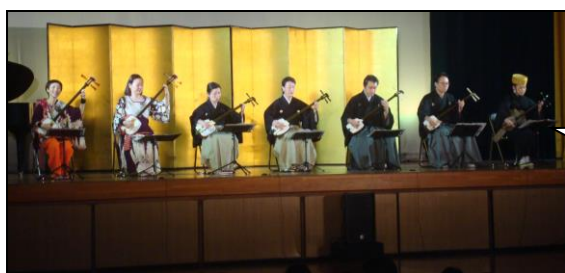
＜がん熊タイム＞今年度から5時間目の前の15分間が「がん熊タイム」となりました。



「がん熊タイム」では、百マス計算やフラッシュカードなどに挑戦し、集中力を高め、学びに向かう姿勢を育てています。



＜芸術鑑賞会＞三味線ナビ♪ ～聴いて納得、観て楽しい、三味線ワールド～



いろいろな種類の三味線の演奏を聴くことができました。

密を避けるため、低学年が午前、高学年が午後に観賞しました。

共同通信社から取材に来られました。記事になるのをお楽しみに！



＜低学年書道科＞



「学校へ行こう週間」のお知らせ

11月2日(月)～11月6日(金) ※6日は午前中のみ

◎正面玄関に受付簿があります。お名前を記入してから、自由にご参観ください。

◎感染予防のため、次のことに留意してください。

- ①ご家庭で検温を済ませてから来校してください。発熱がある場合は、参観を控えていただきますようお願いいたします。
- ②マスク・スリッパをご持参ください。入口等でのアルコール消毒にご協力ください。
- ③教室や廊下で参観する際は、隣の人や児童との間を1m以上保つようお願いします。